

NSK奨学財団(NSK Scholarship Foundation)概要

2025年10月9日

日本精工株式会社(NSK Ltd.)は、2016年に創立100周年を迎え、その10年後を想定した NSKビジョン2026「あたらしい動きをつくる。」を掲げました。この、お客様や社会により一層高い価値を提供し続けたいという想いを基に、従来の”MOTION&CONTROL”という領域での本業を通じた貢献に加え、世界を取り巻く様々な課題の解決に資する高度な人材の育成を支援することを目的とし、NSK奨学財団を設立しました。

当財団では、2つのプログラムを進めています。
1つ目は、様々な分野において日本のリーダーシップが今後ますます求められる状況の中、国際舞台で活躍し世界に貢献する、という強い意志を持った次世代リーダーの輩出を支援するものです。海外の一流の大学院等への留学を目指す日本人学生を支援します。
2つ目は、アジアの一員である日本を本拠とする「ものづくり企業」たるNSKとして、アセアン地域における次世代の人材育成を支援するものです。日本の大学院で科学技術を学び、当該分野の進歩に貢献するアセアン各国の優秀な学生に対し、日本への留学を支援します。どちらのプログラムにおいても、奨学生が学業に専念できるような環境を整えるべく手厚く支援することを特色としています。

- 設立 2017年4月11日
- 出捐企業 日本精工株式会社
- 事業
 - ① 日本人に対する海外留学支援奨学金事業
 - ② 外国人に対する日本への留学支援奨学金事業

<事業概要>

	① 日本人に対する海外留学支援	② 外国人に対する日本への留学支援
目的	・日本の将来を国際舞台で担う次世代リーダーの育成 ・大学の国際化支援	・東南アジア各国の科学技術分野進歩に貢献する優秀な学生への研究支援 ・大学の国際化支援
対象分野	・社会科学系（国際政治・国際経済 等） ・理工学系 （機械工学・情報科学・環境工学 等）	・理工学系分野
種類	給付型奨学金	
募集方法	推薦依頼大学を通じた大学推薦	
応募資格	(1) 学業人物優秀、心身健康、真に経済的援助の必要な者 (2) 応募時、推薦依頼大学に在籍する者 (3) 応募時、日本国籍を有する者 (4) 応募時、35歳未満 (5) 上記対象分野の修士以上の学位取得を目的とする者 (6) DDP等(*1)留学、又は 海外指定大学(*2)留学を予定する者 (7) 他の奨学金給付を併用して受けない者 (8) 対象年度中に留学先滞在が発生する者	(1) 学業人物優秀、心身健康、真に経済的援助の必要な者 (2) 応募時、対象国(アセアン加盟10ヶ国)の国籍を有する者 (3) 応募時、35歳未満 (4) 対象国の学位を有する者 (5) 理工学系分野の修士以上の学位取得を目的とする者 (6) DDP等(*1)にて推薦依頼大学への留学を予定する者 (7) 他の奨学金給付を併用して受けない者 (8) 対象年度中に留学先滞在が発生する者
支援内容(*3)	生活費：22万円／月 授業料：留学先授業料、入学金 年額1000万円以内 DDP等で留学先授業料免除の場合は、 留学元授業料を年額500万円以内支給 その他：渡航費	生活費：16.5万円／月 授業料：留学先授業料、入学金 年額300万円以内 DDP等で留学先授業料免除の場合は、 留学元授業料を年額300万円以内支給 その他：渡航費
支給期間	修士課程：2年間、博士課程：3年間 DDP留学の場合、その規定期間	
募集人員	新規4名程度（うち少なくとも2名は女性を優先）	新規4名程度
選考・採用	推薦依頼大学に候補者の募集と推薦を依頼。（人数指定あり） 大学推薦の後、当財団の確認面接を行って内定。 合格証明又は入学許可証等を確認後正式採用。	推薦依頼大学に候補者の募集と推薦を依頼。（人数指定あり） 大学推薦の後、当財団の確認面接を行って内定。
奨学金給付他	生活費支給は年4回、日本円振込 奨学生には学業成績、生活状況の報告義務あり	生活費支給は年4回、日本円振込 奨学生には学業成績、生活状況の報告義務あり
事業資金	日本精工株式会社からの寄付	

(* 1)ダブルディグリープログラム等(DDP等)
複数の提携する大学間で開設された同じ学位レベルの共同プログラムを修了した際に、各大学がそれぞれの学位を付与する制度(ダブルディグリープログラム)及び 当財団が指定するプログラム。

(* 2)海外指定大学(2026年度) :以下の大学 および 推薦依頼大学と当財団との間で別途合意した大学
オックスフォード大学/英国、マサチューセッツ工科大学(MIT)/米国、プリンストン大学/米国、ケンブリッジ大学/英国、ハーバード大学/米国、スタンフォード大学/米国、カリフォルニア工科大学/米国、インペリアル・カレッジ・ロンドン/英国、カリフォルニア大学バークレー校/米国、イェール大学/米国、スイス連邦工科大学チューリッヒ校/スイス、清華大学/中国、北京大学/中国、ペンシルベニア大学/米国、シカゴ大学/米国、ジョンズ・ホプキンス大学/米国、シンガポール国立大学(NUS)/シンガポール、コーネル大学/米国、カリフォルニア大学ロサンゼルス校(UCLA)/米国、コロンビア大学/米国、トロント大学/カナダ、ユニヴァーシティ・カレッジ・ロンドン(UCL)/英国、ミシガン大学アナーバー校/米国、カーネギーメロン大学/米国、ワシントン大学/米国、ミュンヘン工科大学/ドイツ、デューク大学/米国、エディンバラ大学/英国、ノースウェスタン大学/米国、南洋理工大學/シンガポール、ニューヨーク大学/米国

(* 3)生活費と授業料は2025年度実績額